

睡眠姦娘

Vol.2「ナタリア」



この作品はフィクションであり、
実在する人物、地名、団体とは
一切関係ありません。

前回のあらすじ

洋介の母はクラブを経営している。そのせいでホステスが家に住み込んだりするのはよくあることだった。

洋介は幼い頃は年の離れたホステスを遊び相手として見ていなかったが――

精通を迎えてからはホステスを女として見るようになった。

ゴッポユッ

そんな折三四歳のホステス・智代が住み込むことに――

洋介は智代に睡眠薬入りのお茶を飲ませて、彼女を前後不覚に陥らせることに成功する。

洋介は合い鍵を使って智代の部屋に侵入し、熟れた体にイタズラを繰り返した。

イタズラはエスカレートし、やがては膣内射精まで行うようになった。

程なくして智代は妊娠し、当時付き合っていた男性Aと婚約し、お店を辞めたのだった。

ナタリア・リゼスカヤ
(通称ナタリー)

28歳

身長 177cm

B 110cm W ?cm H 111cm



ある日の放課後――

キンコーン
カーコーン

家に帰ると
見慣れない靴があった。

まるで置物のようにデカイ。

誰だろう。

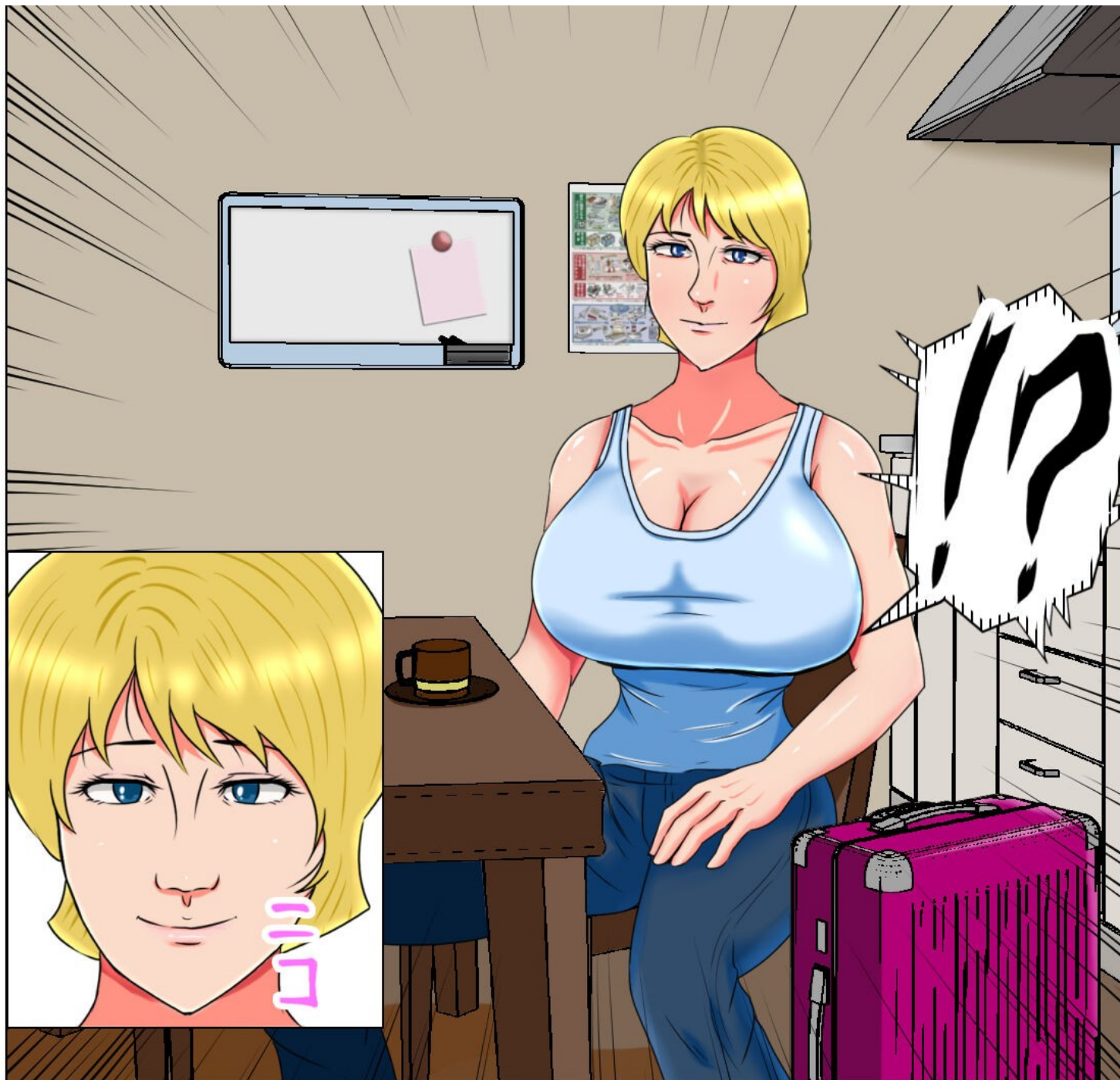
和田●●子でも来たのか？

あら、おかえり。

ただいま。

お客さん？

うん、ちょうど良かった。
こっちに来て挨拶しなさい。







ナタリアは洋介がたじろいでしまうほど大柄だった。

どーしり



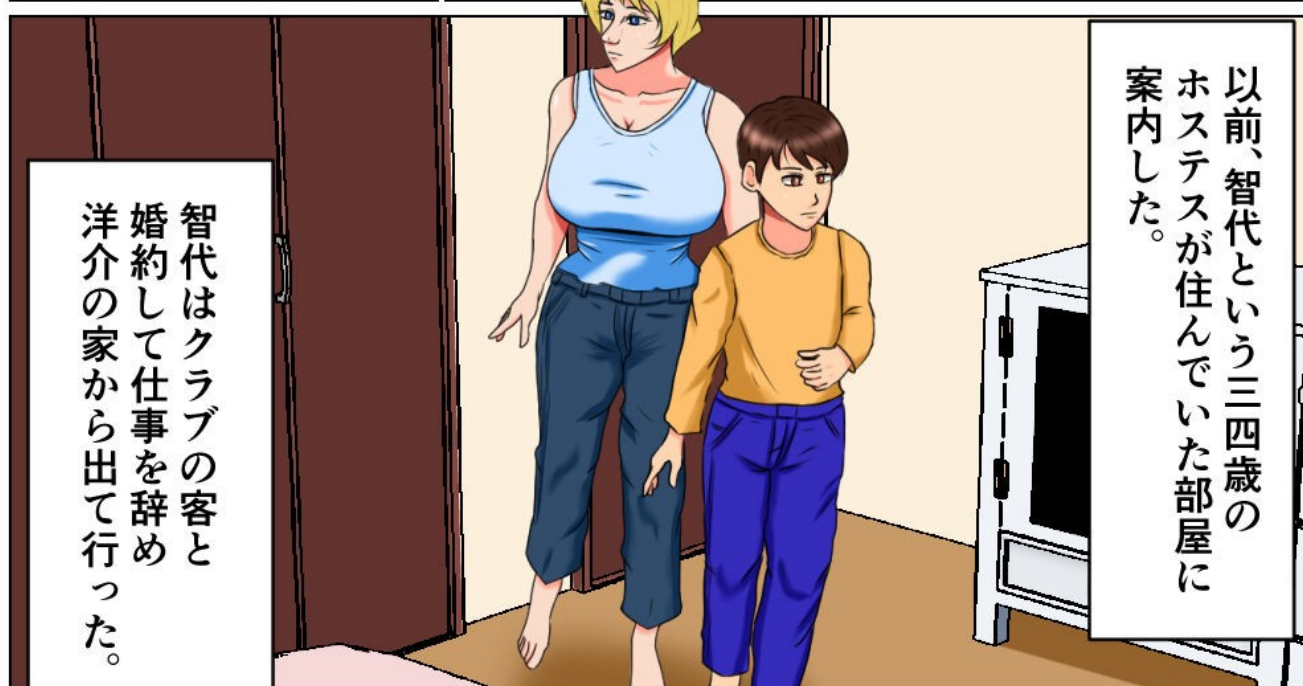
胸は、スイカでも入ってるんじゃないかと勘ぐりたくなるほどの盛り上がり。

いぢッ

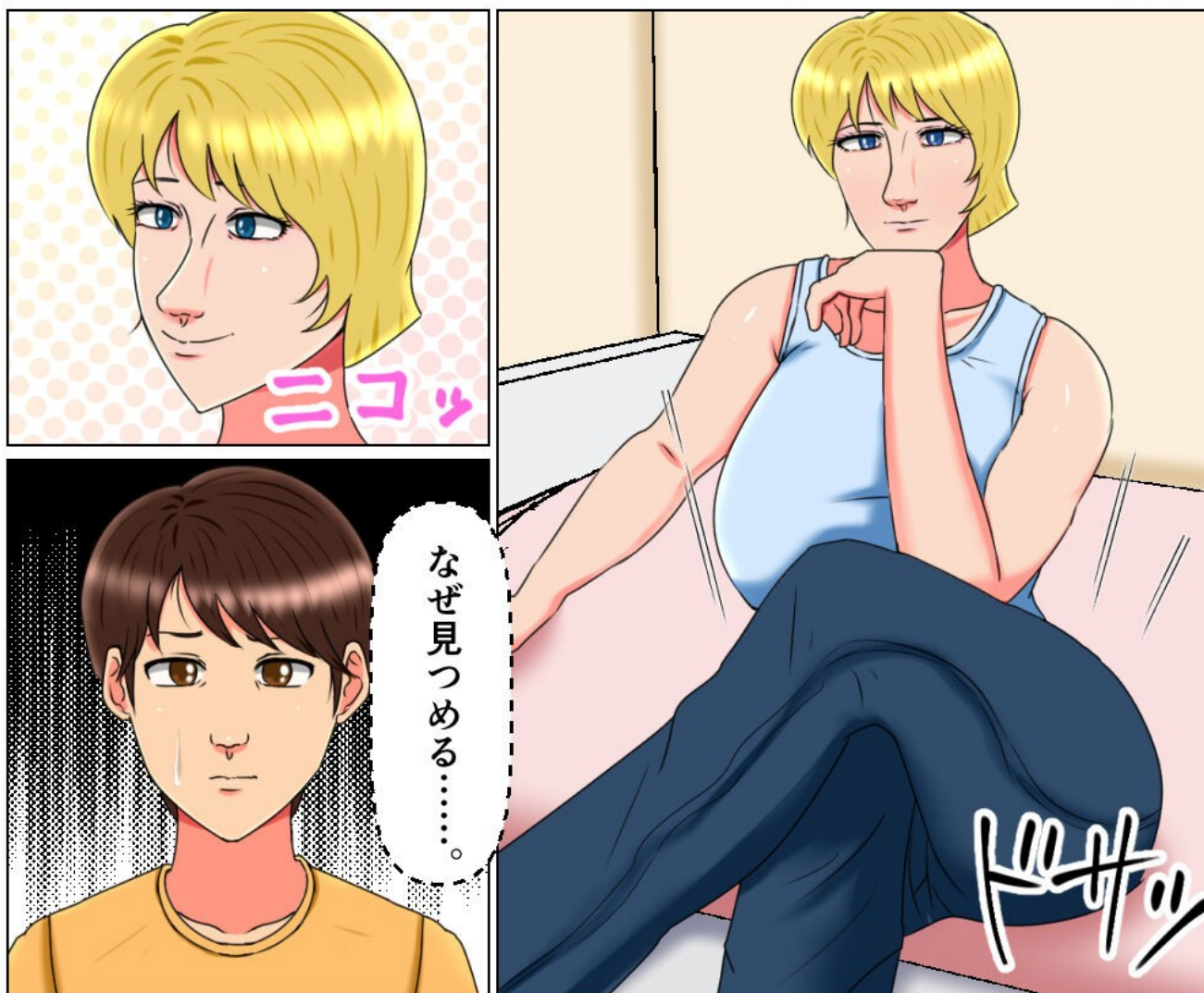


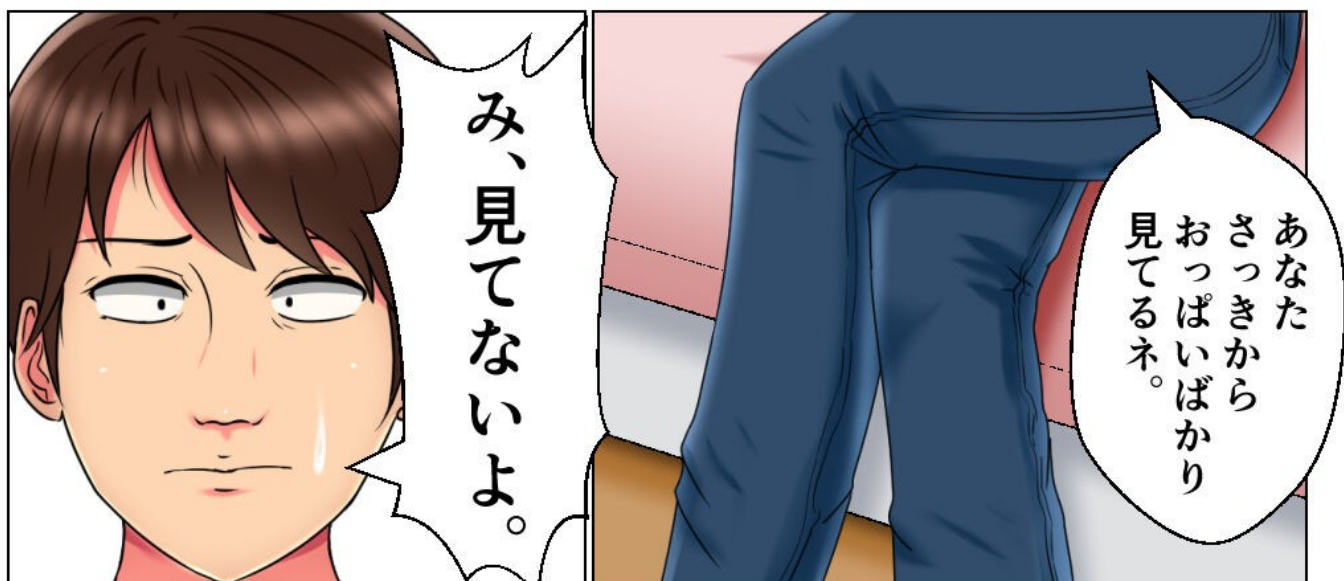
ヒップラインは横に大きく広がってまるで小山のようだ。

デーン



智代はたまに遊びに来るが、お腹が少し大きい。
妊娠しているのだ。
誰しもが父親は婚約者だろうと思っている。実際は違う。
父親は洋介なのである。
洋介は智代に睡眠薬を飲ませて昏睡状態にさせ、膣内に射精を繰り返した。
妊娠はその結果なのだった――





宿題があるから
自分の部屋に戻るよ。

洋介は返事もまたずに
部屋を後にした。

自室

なんなんだ
あのデカ女は……

腹立つけど
あのおチチは
すごいな……

やべ、勃ってきた。
一発抜くか……

合い鍵は持ってるし
いずれあの白人デカ女に
睡眠導入剤を飲ませ
イタズラしてやろう。

ドッポエツ

翌週の初め。

夕方、ナタリアが
出勤したあと洋介は
彼女の部屋に忍び込んだ。

鍵はかかっていなかった。

鍵ぐらい
かけろよ……

カチャ

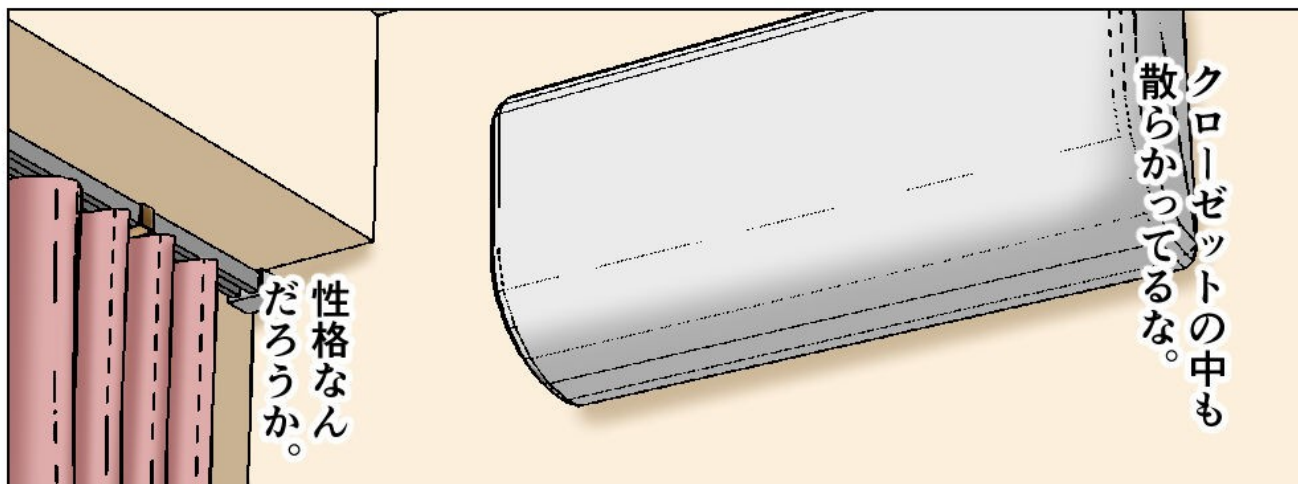
いつものことだけど
最初は緊張する……

ナタリアの体臭と
化粧品と
香水の混じり合った匂い……

散らかってる……

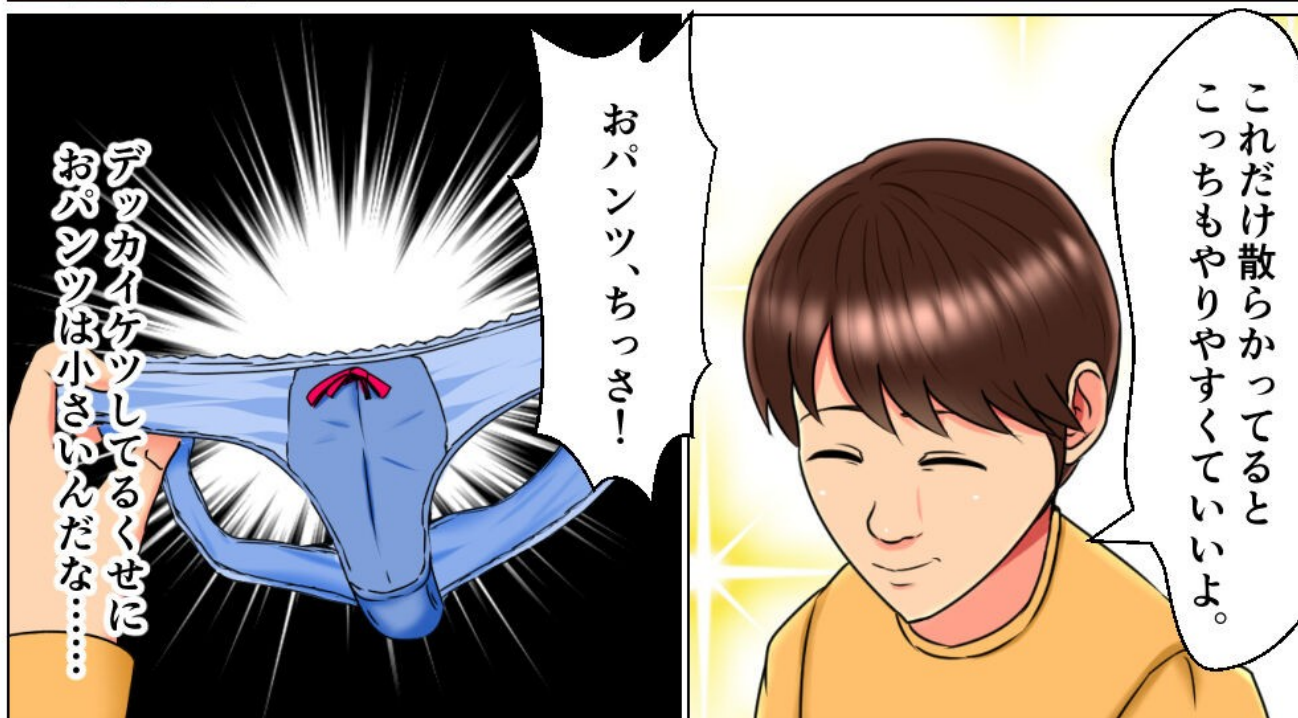
智代の時とは
大違いだ……

おパンツか
ブラを探そう。



クローゼットの中も
散らかってるな。

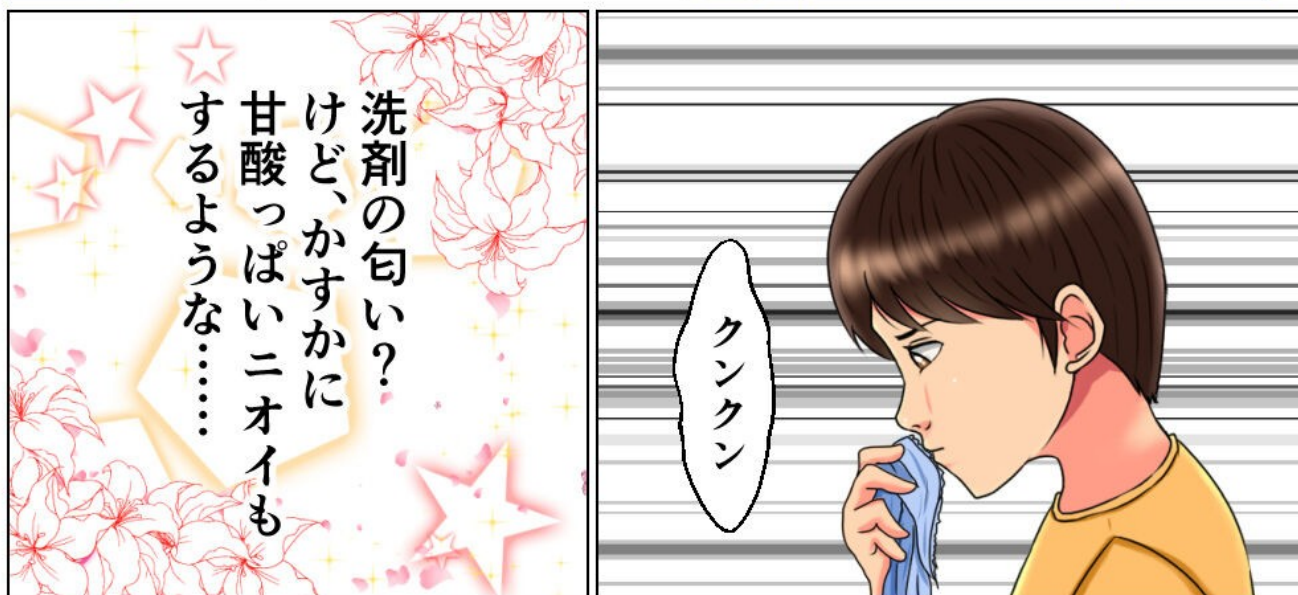
性格なん
だろうか。



これだけ散らかっていると
こっちもやりやすくていいよ。

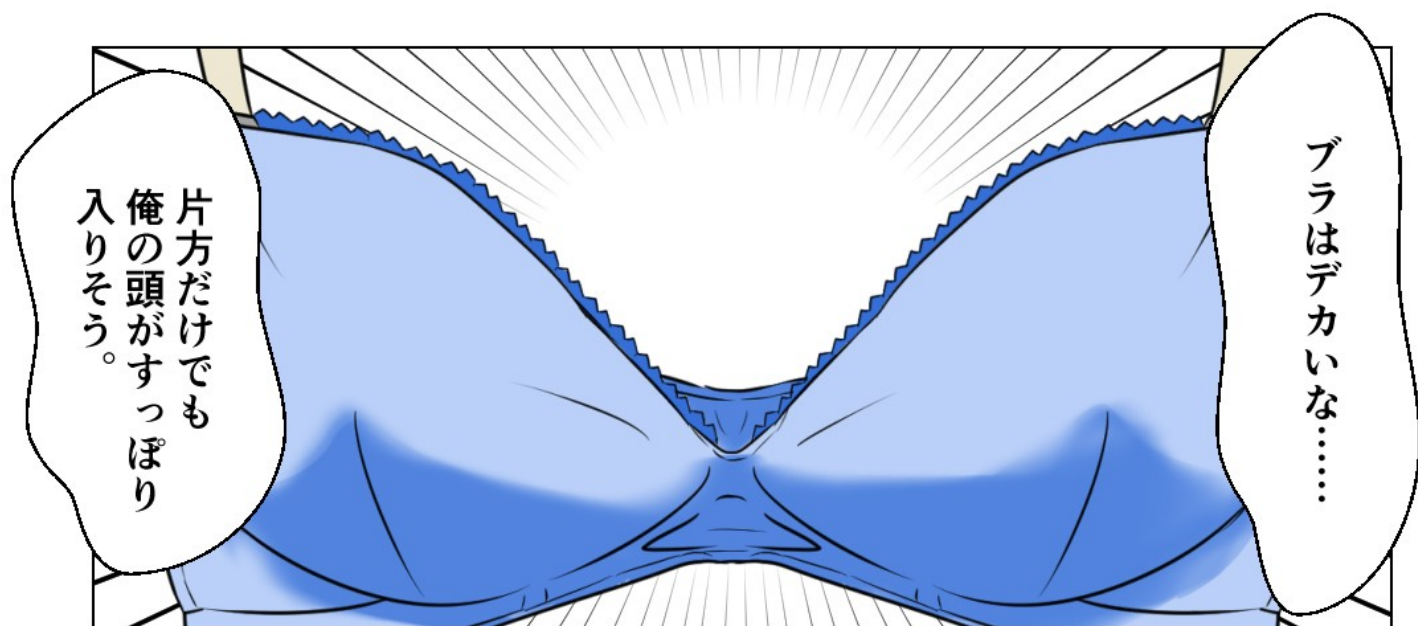
おパンツ、ちっさー！

デッカイケツしてるくせに
おパンツは小さいんだな……



クンクン

洗剤の匂い？
けど、かすかに
甘酸っぱいニオイも
するような……



ブラはデカいな……

片方だけでも
俺の頭がすっぽり
入りそう。



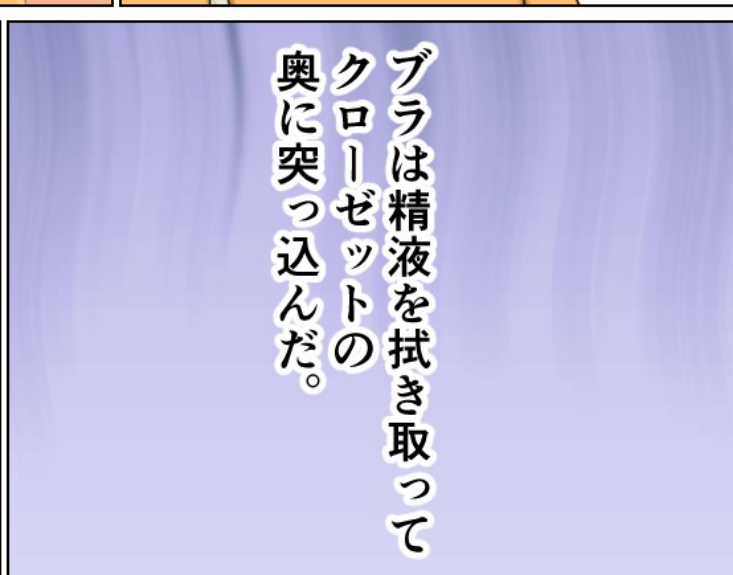
おパンツの匂いを嗅ぎながら、
巨大なブラの
中に射精した。



帽子か！



ナタリアはがさつだから
バレないだろう。
バレても白を切れば証拠は
ないんだから大丈夫……



ブラは精液を拭き取って
クローゼットの
奥に突っ込んだ。



いずれは本物の
デカパイに精液を
引っかけたいね。



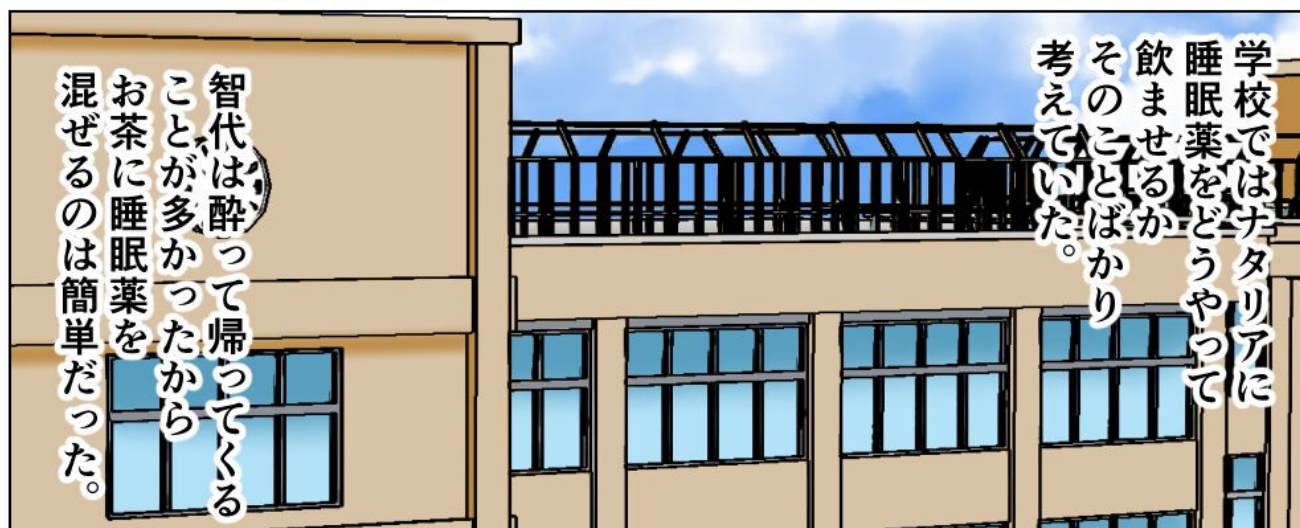
ナタリアが
酔って帰ってくることは
ほとんどないのである。

ただいまー

洋介が、酒は嫌いなのか
と尋ねると――

わたしはダンサーだから
あまり飲まない。





学校ではナタリアに
睡眠薬をどうやって
飲ませるか
そのことばかり
考えていた。

智代は酔って帰ってくる
ことが多かったから
お茶に睡眠薬を
混ぜるのは簡単だった。

一週間が過ぎた。

学校からの帰り、
家の前で父と出くわした。

書類をね
取りに来たんだ。



父親は別居状態で、
家には寄りつかない。
洋介が父と顔を合わせるの
は、三ヶ月に一度ぐらいだ。

父は「母さんによろしくな」
と言い残し
歩き去って行った。

家に入ると
ナタリアがいて、

おかえり。

ノーブラ…

ナタリアの
髪の毛は濡れていて、

少し息も弾んでいた。

はあ

はあ

なんか、変な感じ。

シャワーでも浴びた？

ナタリアは
昼寝をしないと
居室に籠もった。

しん



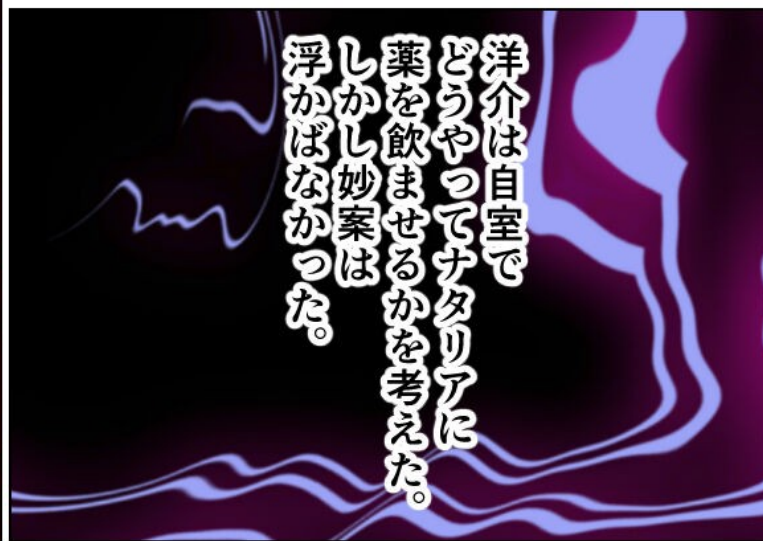
もしや……
ナタリアは
父さんとセックスした？



好きな玩具を無理矢理
取り上げられた気分だった。



夕方、
ナタリアは出勤した。



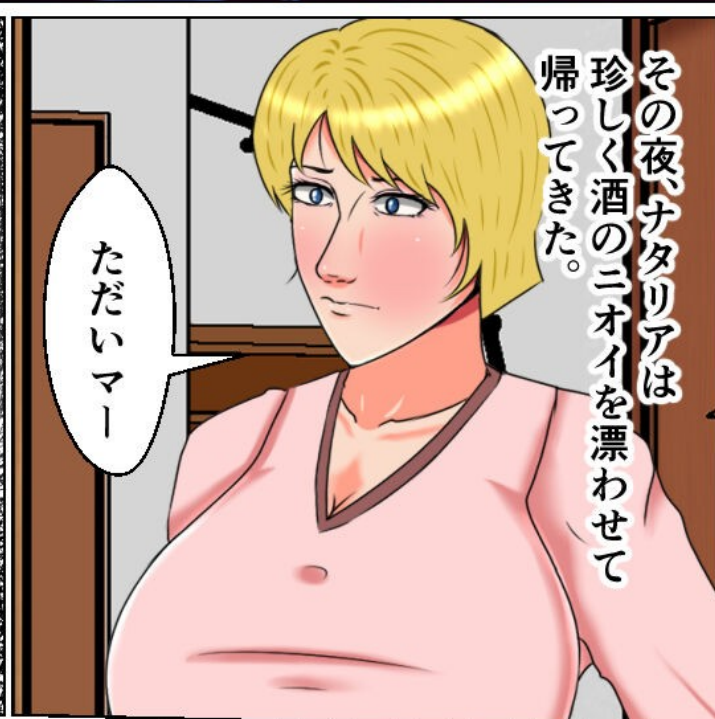
洋介は自室で
どうやってナタリアに
薬を飲ませるか考えた。
しかし妙案は
浮かばなかった。



泥酔というわけではなく
ほろ酔い程度のようなだ。

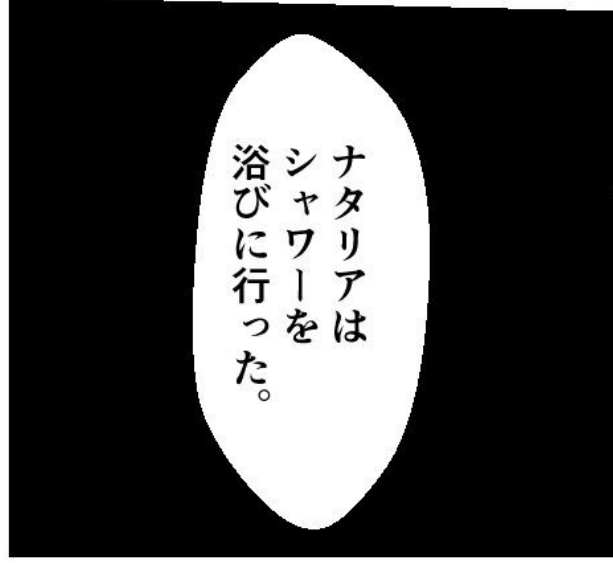
……

観察中



その夜、ナタリアは
珍しく酒のニオイを漂わせて
帰ってきた。

ただいまー

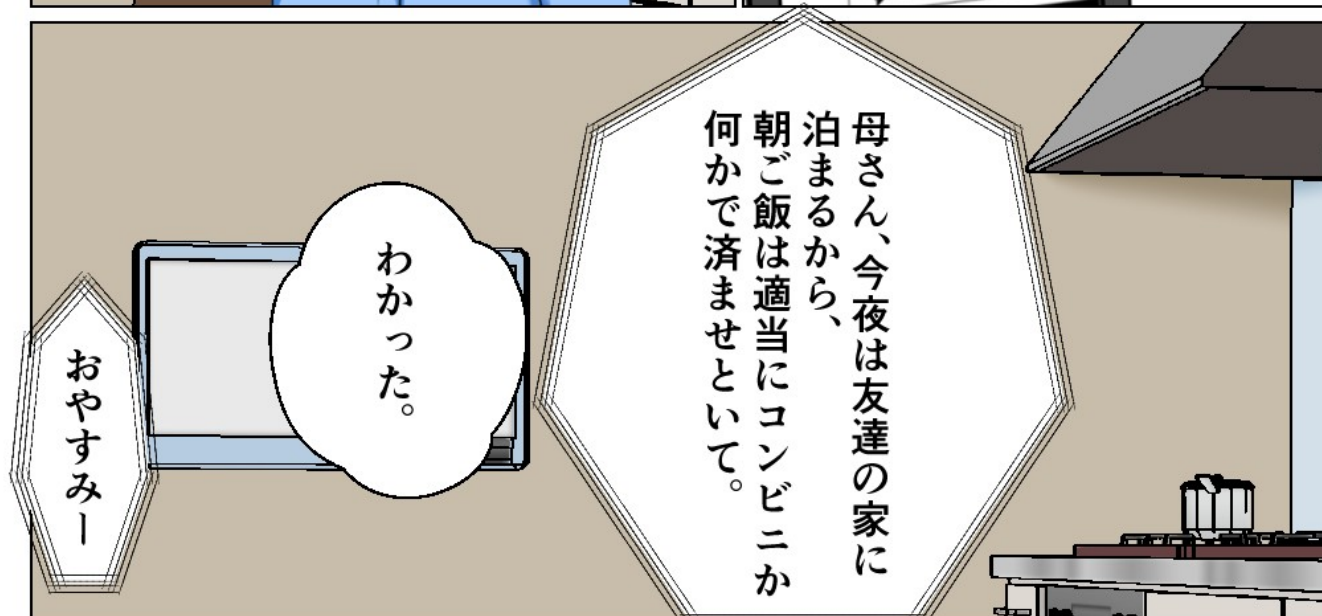


ナタリアは
シャワーを
浴びに行った。



おみやげー

餃子！





餃子に睡眠導入剤を
混ぜてナタリアに
食べさせたら……？



ナタリアは寝る前は
僕の部屋でゲームを
するのが日課だ。
餃子も部屋に
持っていこう。



十分後。
ナタリアは洋介の部屋にやってきた。

ゲーム
しに来たヨ。

久しぶりに
お酒、飲んだネ。

餃子、食べない？

ギョーザ…





よし！
薬入りの餃子を
食べたぞ！



パクッ



はむっ

どう？
美味しい？



ニヤ



餃子は時間が経つと
不味くなるから
全部食べようよ。

オーケー。



んー
おいしいネ。
少し冷たいけど。

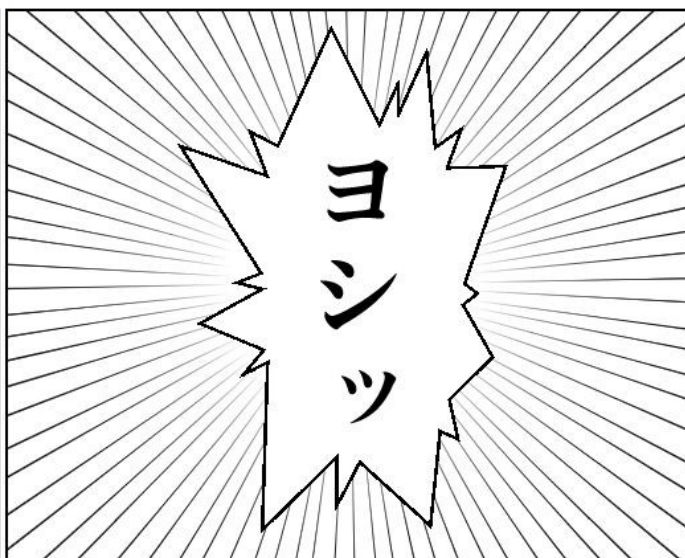




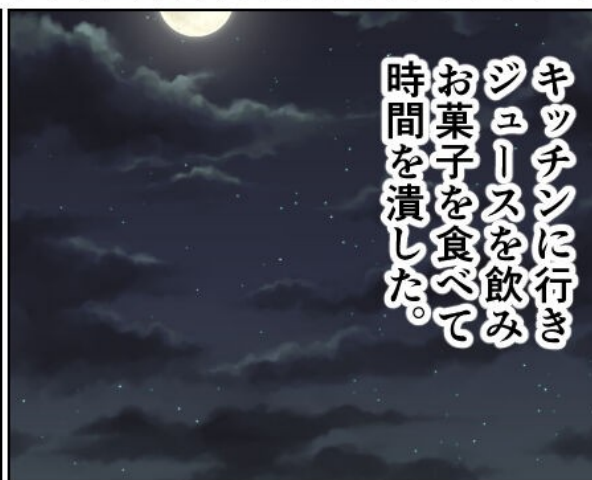




ひとまず暗くして
少し時間を置くか……



ナタリアが
眠ってから
三十分後
洋介は部屋に
戻った。



キッチンに行き
ジュースを飲み
お菓子を食べて
時間を潰した。

ナタリアは仰向けになって
寝ていた。





改めてみると
やっぱりナタリアのおチチは
デカイ……



ケツもデケー……

まずは薬の効き具合を、
確かめるか。

ナタリア。

起床だ、ナタリア。

起きてよ、
ナタリア。

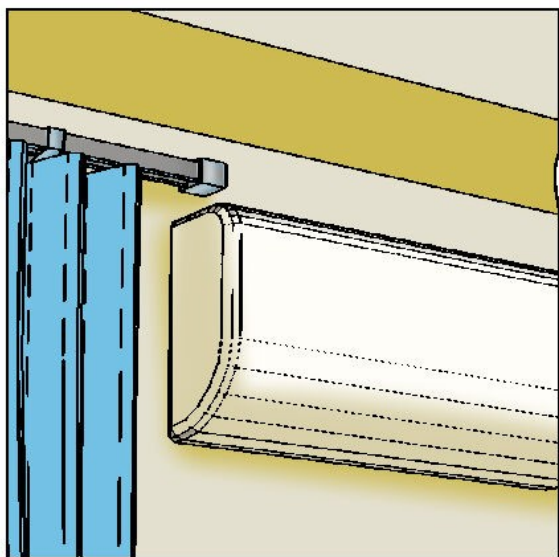
ズンズン...

目を覚ます気配なし！

効いてる効いてる。

ニヤ

やべ
痛いぐらいに
起ってきた……



まずはデカパイを
見てやるか。



まるでケツのような
おチチだな(笑)

というかナタリアは寝るときに
ブラをするんだな……



ブラを
脱がそう！



すごく……
大きいです……

るるる……

いちゃ

ぽろん





どんな味かな……

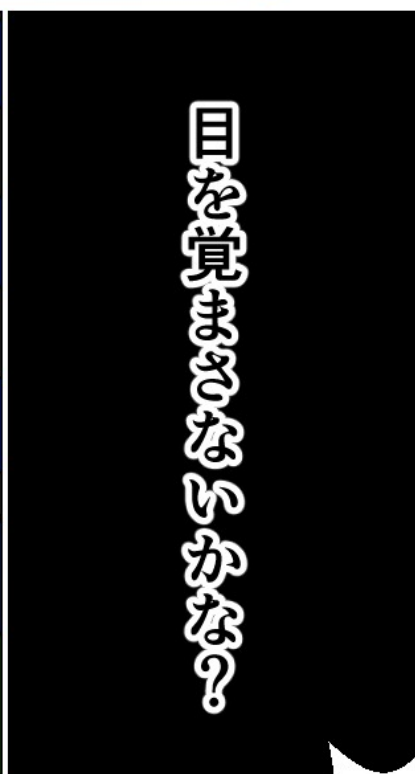
ぽよん



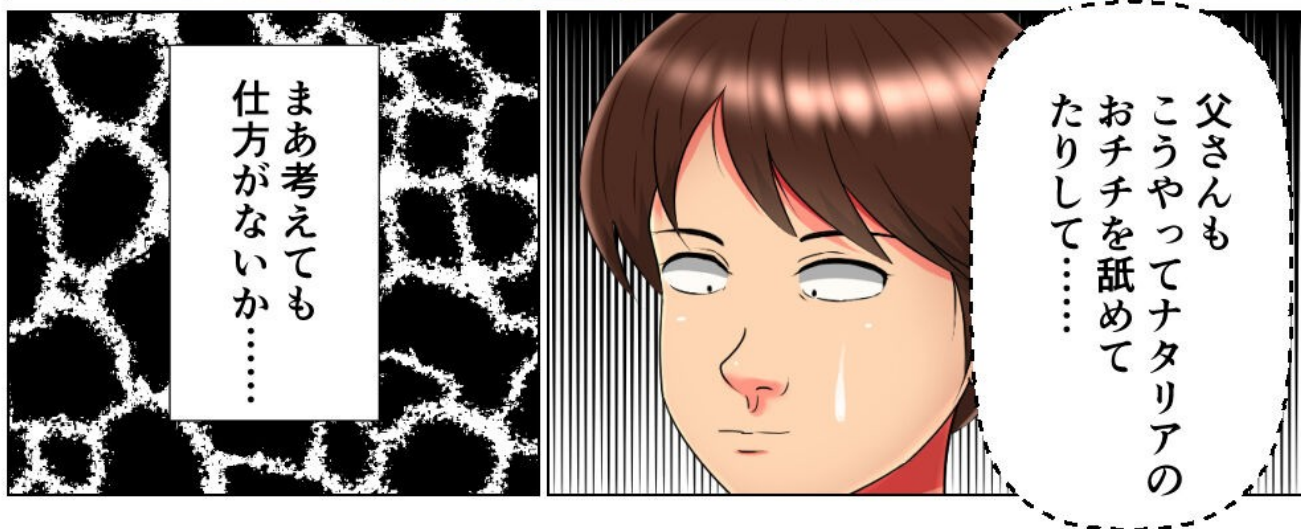
味は……しない。

あえて言うなら塩味……薄塩だ。
智代のオッパイと同じだね。

れろれろ

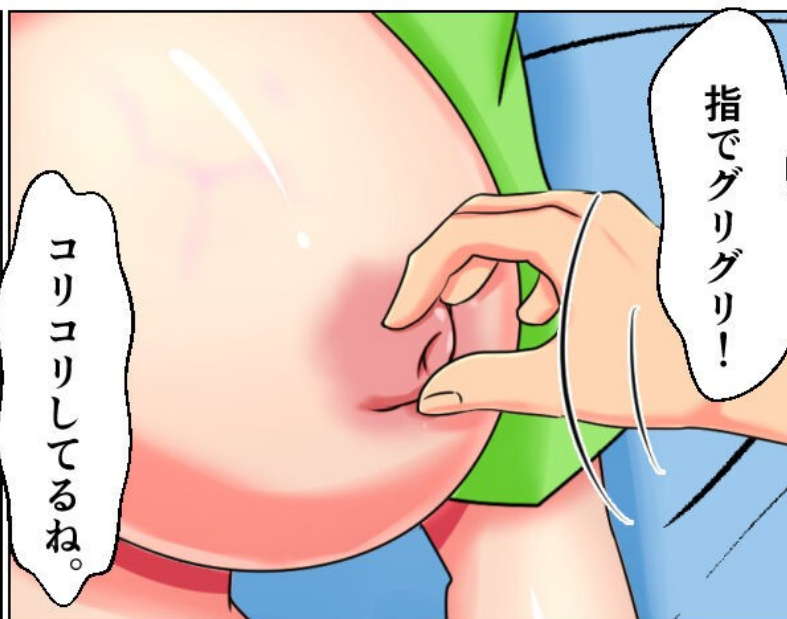


倍速で舌を動かす!





うーん



指でグリグリ!

コリコリしてるね。



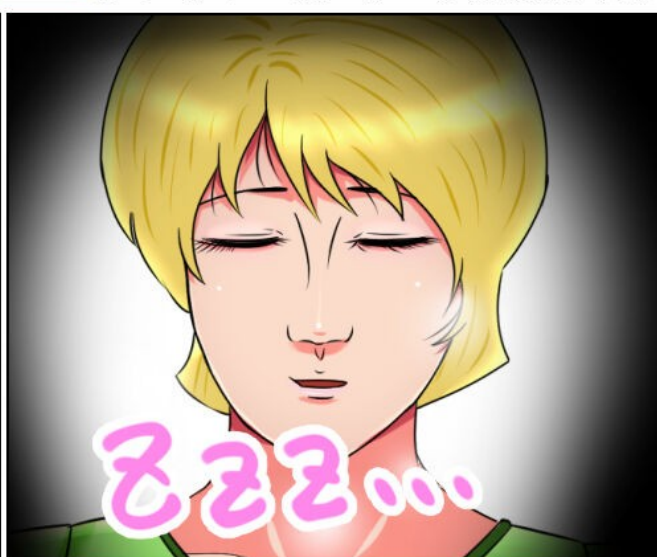
やりすぎかな……
ここで目を覚まされると
かなりやばい……

どきどき

ナタリアは元々アルコールに
弱いし……
睡眠薬を通常より多めに
飲ませてるんだ。
目覚めるわけがない……



ふう
大丈夫だ……



ズズズ……

そろそろ下に行くか。

太もも、デカいな！
馬の首並か？

どしり

射精は膣の中でしたい。

智代の時は
どうしたっけ？
智代を横に
して……
自分も
横向きに……

ナタリーの体を
横にするのは
大変……

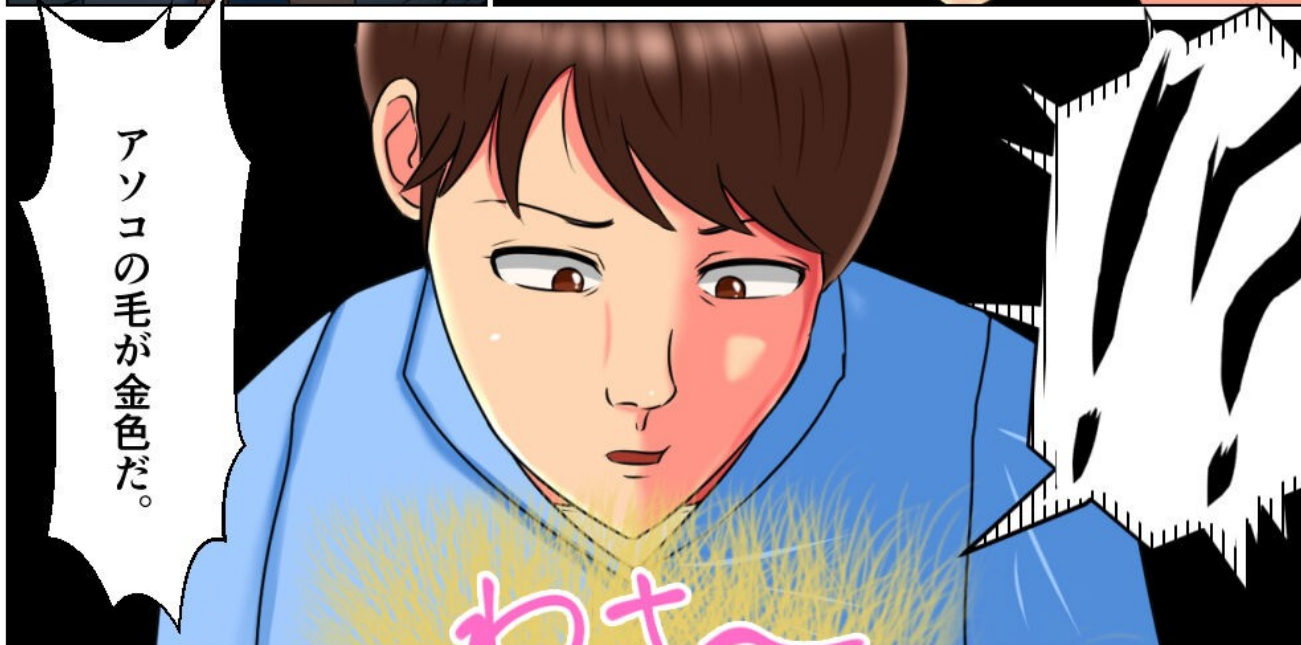
今回は
お股を広げよう。

こちらのほうが楽だ。

ぐい



先におパンツを
脱がせなきゃ……



アソコの毛が金色だ。

わさ〜



ナタリーのアソコの毛は
形が揃っていて……
すごく意外だ。

もしかしてこれは
カットして揃えてるのかな。

智代のアソコの毛は
こんなに揃っていなかった。



まずは
指を入れてみるか。



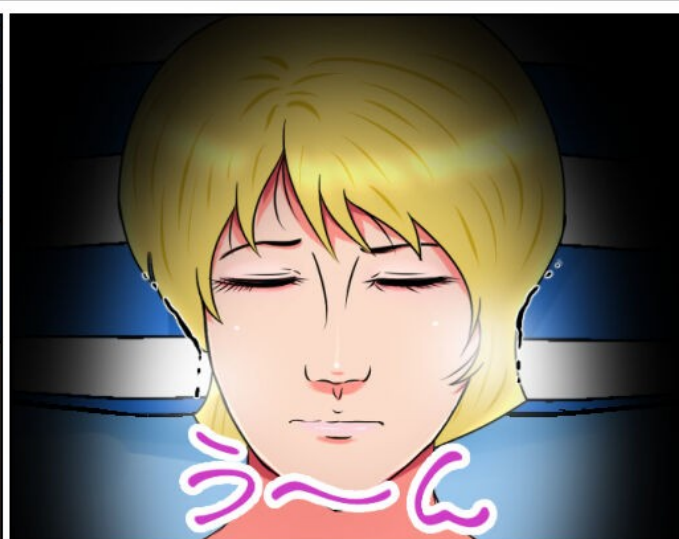
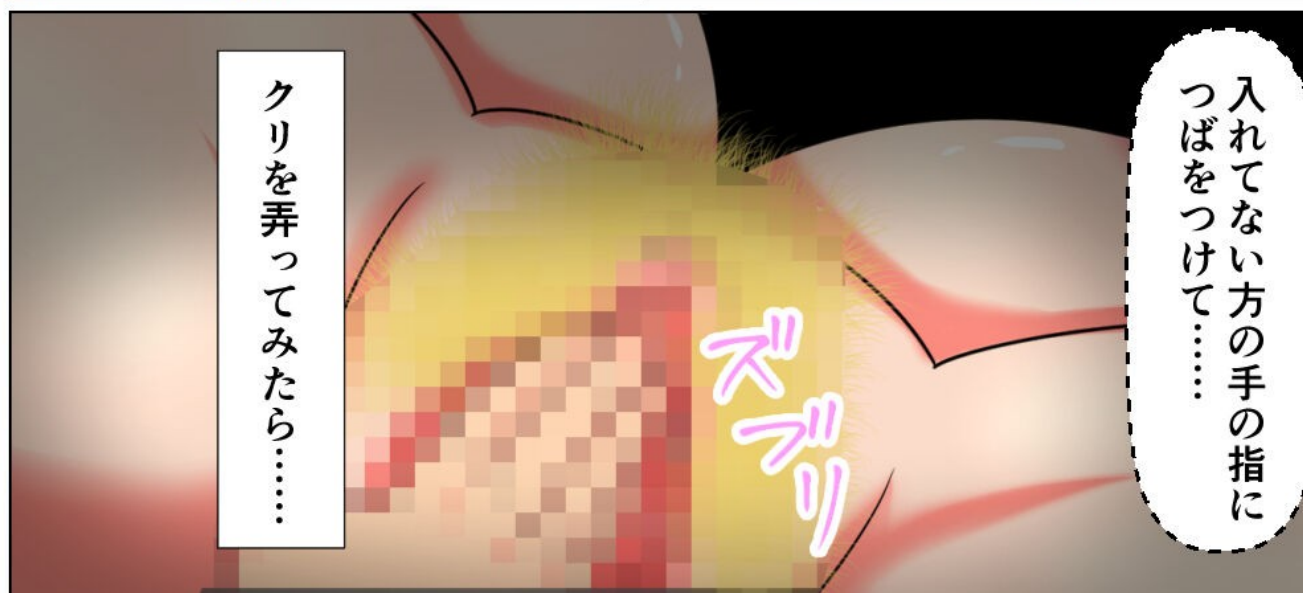
三本でも余裕...

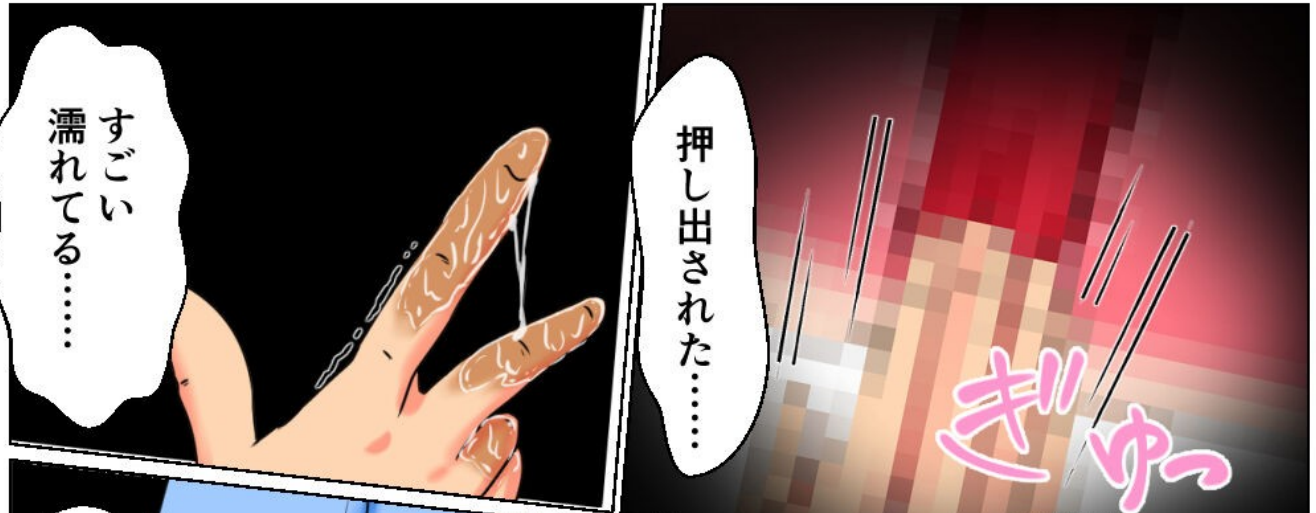


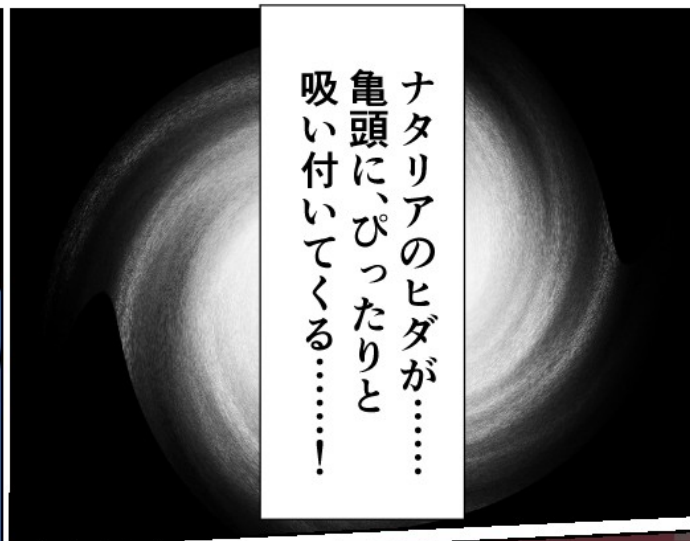
二本ぐらいいは
易々入る...

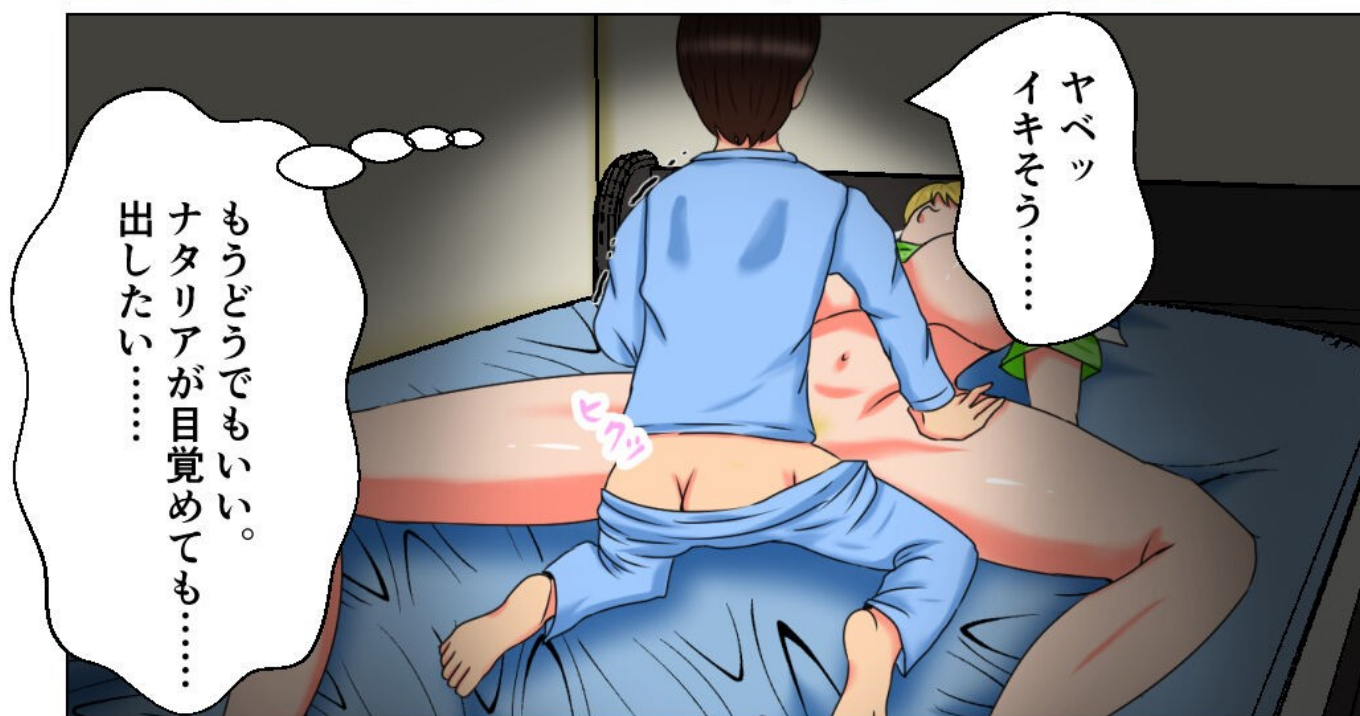
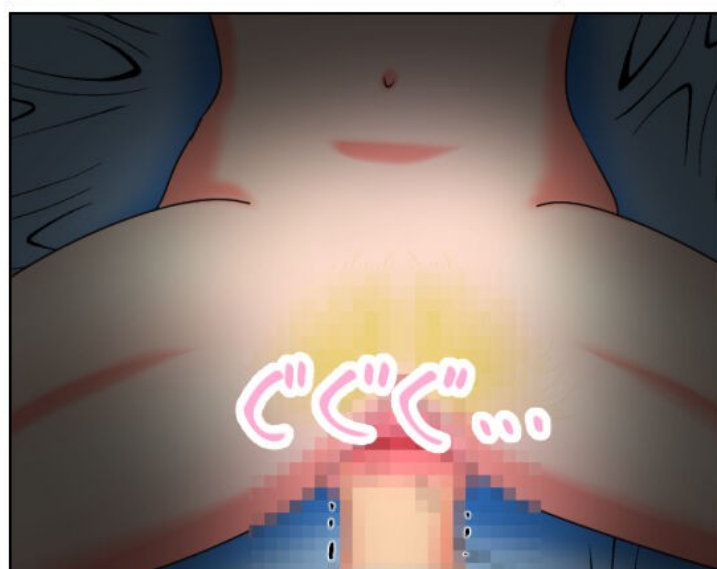


四本、いや五本でも
入るんじゃないか？













射精は、三分ほども続いた。

気持ちいい……

洋介は何度も腰を震わせた。
そのたびに精液がびゅっぴゅっ
とナタリアの膣奥に向かって
放出された。

どくどく…

五分ほどして、ようやく洋介は
上体を起こした。

ふう……

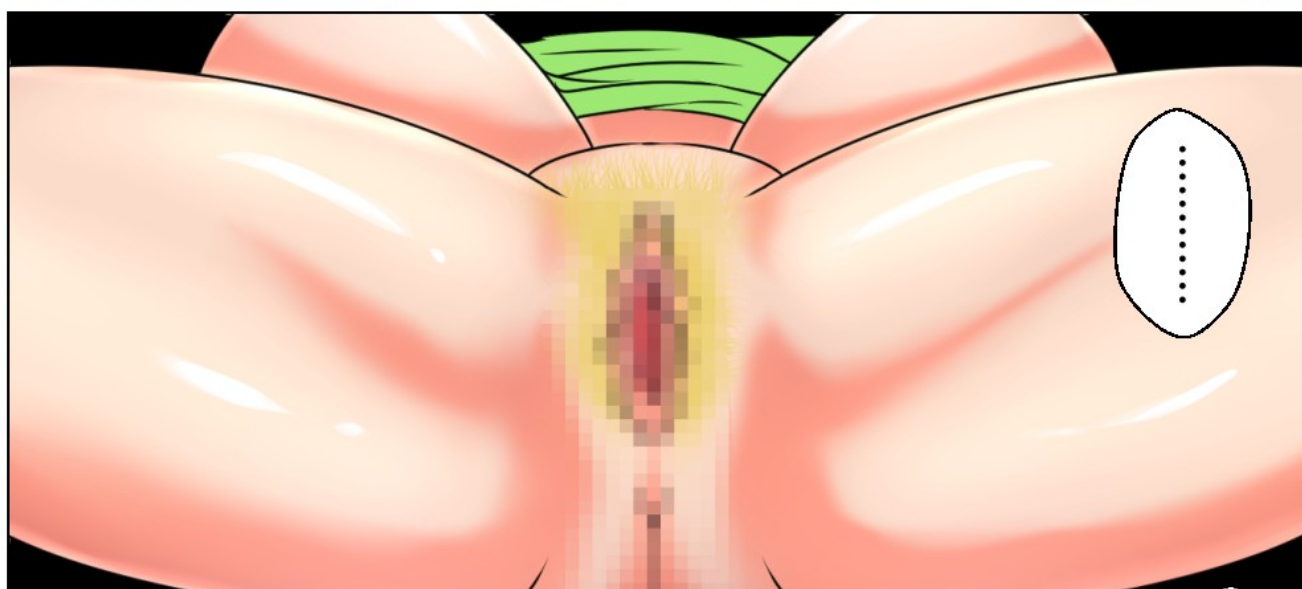


めっちゃ出た……

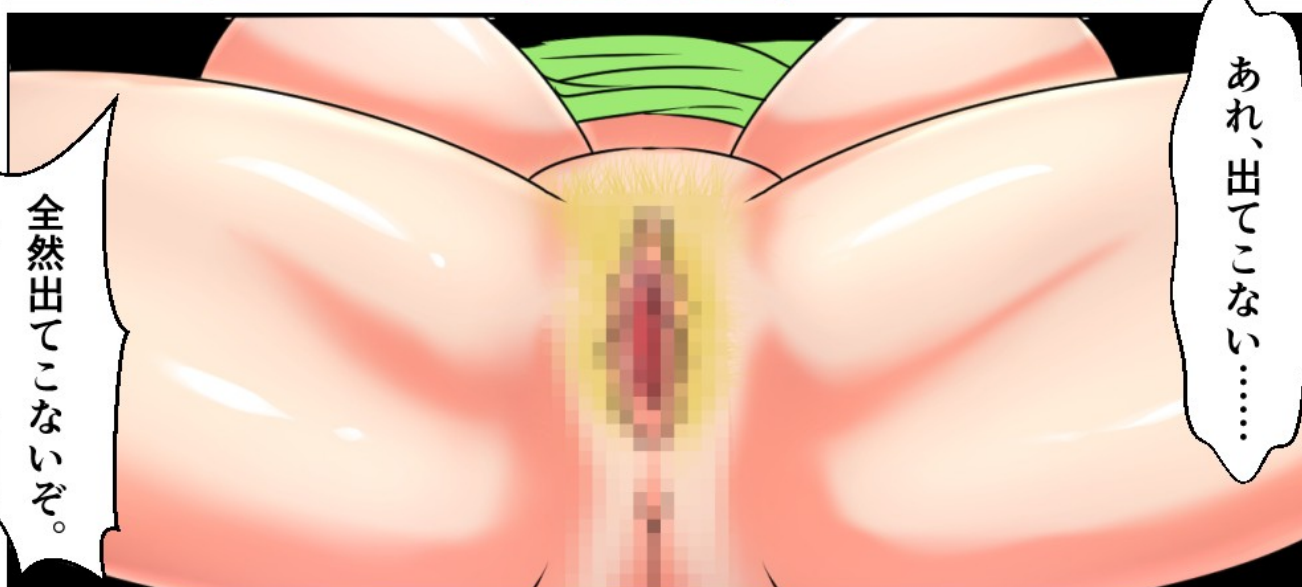
引き抜いたら
漏れるかも。

シートが
汚れるから……

手で半分ぐらい受けるか。



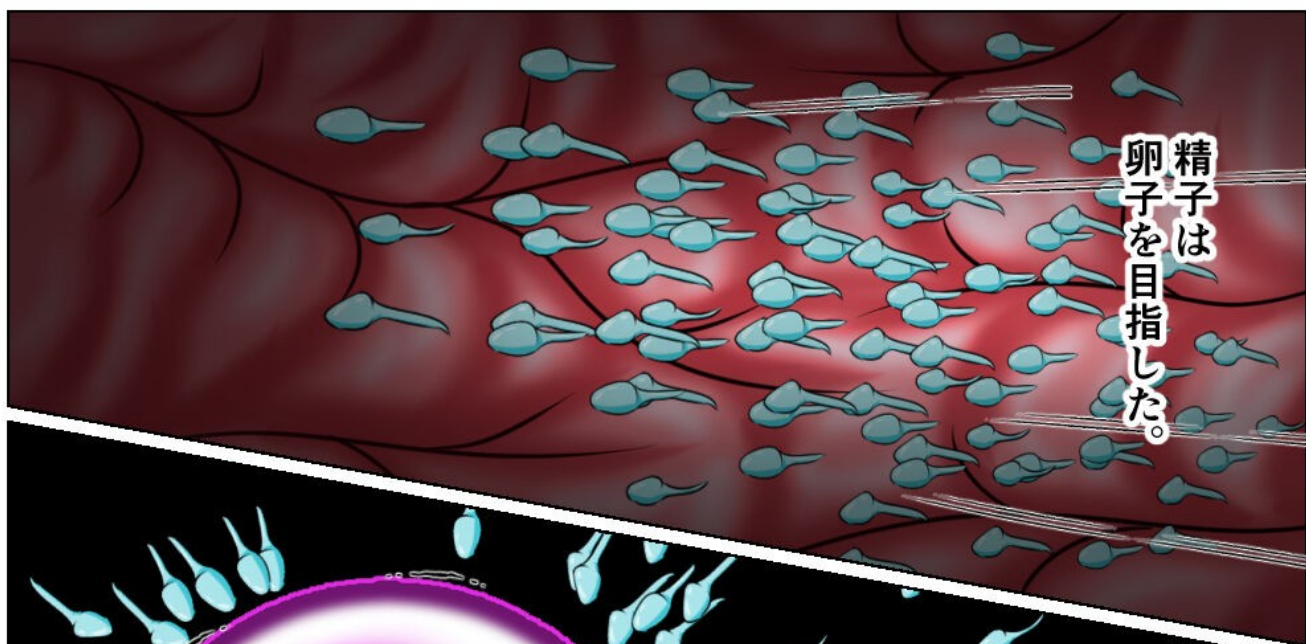
……



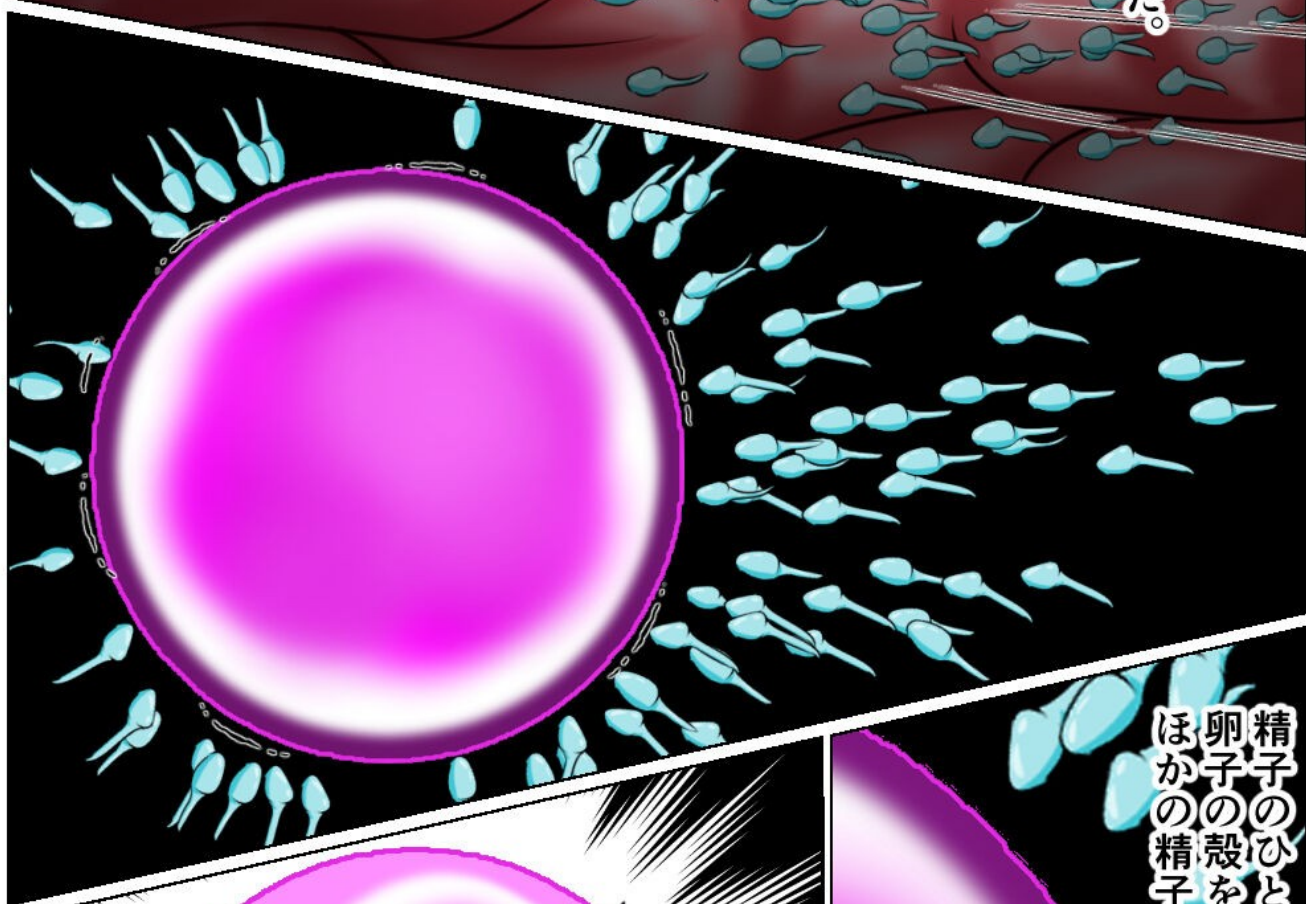
あれ、出てこない……

全然出てこないぞ。

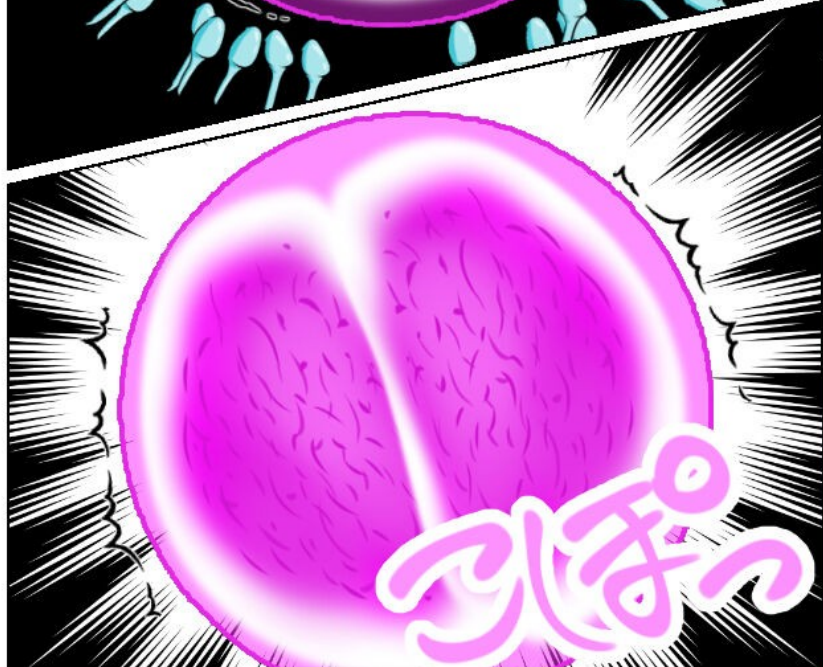




精子は
卵子を目指した。



精子のひとつが
卵子の殻を破ると
ほかの精子は死滅した。

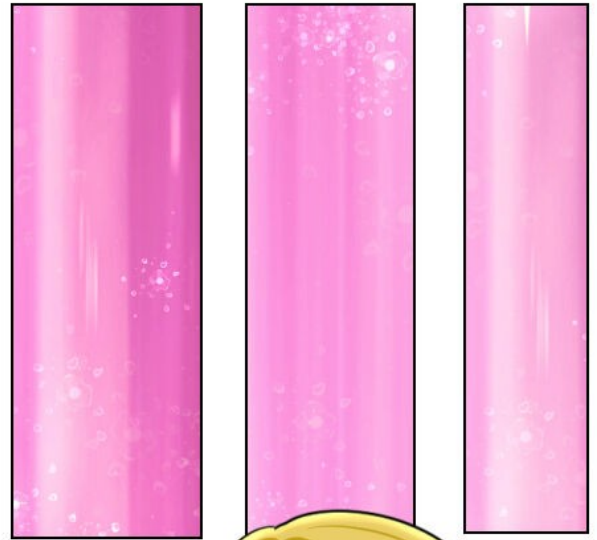




ナタリアは、それから一週間ほど
経ってから洋介の家を出て
ワンルームマンションに引っ越した。

洋介は知るよしもないが
洋介の父親の手配によるものだった。
ナタリアは、洋介の父と金銭による
愛人契約を結んだのだ。

およそ三ヶ月後の
日曜日の昼——
ナタリアが洋介の家に
遊びに来た。



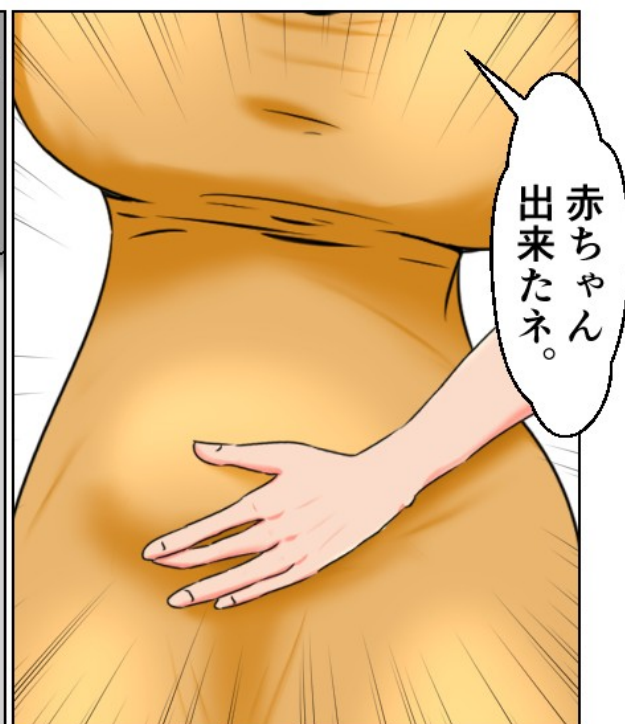
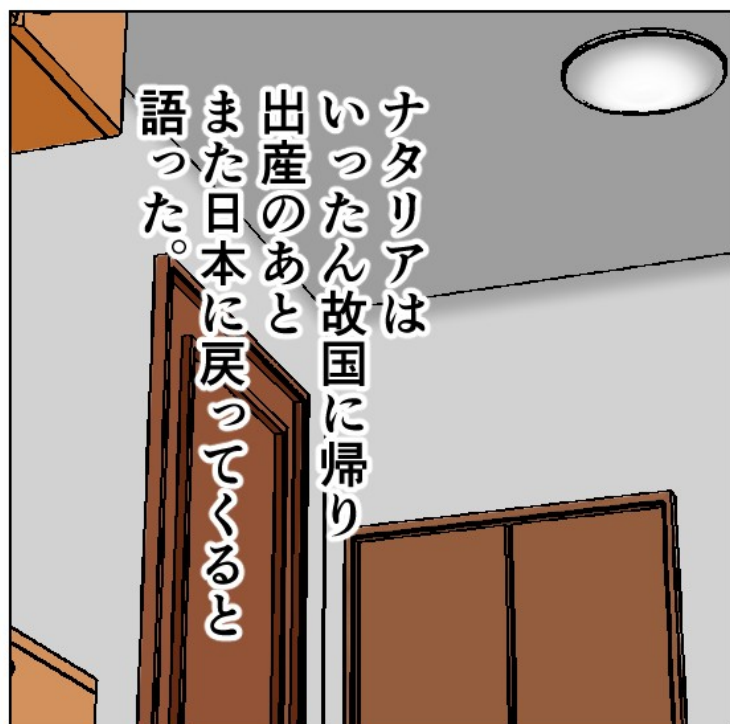
お、おひさ。

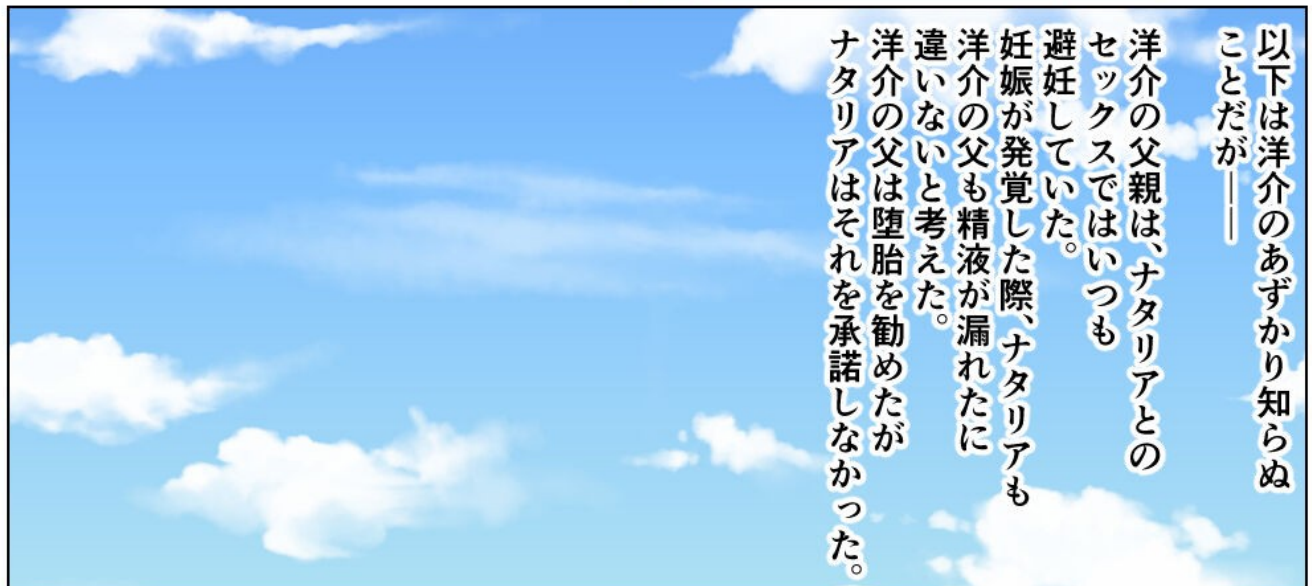


おひさ〜



日本を 離れる
ことになったヨ。





差分です。





『睡眠姦妊娠』 Vol.2「ナタリア」

2016年11月18日	配信開始
2018年3月19日	2版(作画と塗りの一部を修正)
2018年12月25日	3版(作画と塗りを大幅に修正)
2021年5月17日	4版 改題、全面改稿

制作：みんなの巨乳党(トリプルC)